

地方独立行政法人山口県産業技術センターの自己評価方法の実施方針

第1 趣 旨

中期目標、中期計画に基づき、自己点検、評価を定期的実施するために必要な仕組みを整備する。

第2 自己評価の実施に当たっての基本的な考え方

業務の質の向上等に資する評価の実施

業務運営における長所、問題点等を明らかにし、その結果を業務の質の向上、運営の効率化を図る取組に反映

適正かつ効率的な評価の実施

中期目標・中期計画全体の達成状況・進捗状況の評価するという趣旨を踏まえ、最小評価単位を、最小項目ではなく、その一つ上位の細項目とし、評価を実施

自主性、主体性を伸長する評価の実施

評価を通じ、法人自らが業務運営におけるあり方を積極的に検討する。また評価の結果を県民に開示することで説明責任を果たし、法人の業務への理解を促進

第3 設定する自己評価の種類、評価の対象

種 類	対 象	目 的	実施時期
事業年度 評価	当該事業年度における 中期計画の進捗状 況	○中期目標の達成に向けた中期計画の 進行管理（中止、変更を含む） ----- ・ 県評価委員会が実施する業務実績 （各事業年度）評価へ活用	各事業年 度終了の 翌年度
先行評価	中期目標の達成状況 （初年度～第3年度）	○次期中期計画の策定 ----- ・ 県評価委員会が実施する業務実績 （中期目標期間の初年度～第3年度） 評価へ活用 ・ 県知事が行う中期目標期間終了時の あり方の検討、次期中期目標、次期 運営費交付金への反映	中期目標 期間の第 4年度
中期目標 期間評価	中期目標の達成状況	○中期目標の達成状況の確認 ----- ・ 県評価委員会が実施する業務実績 （中期目標期間）評価へ活用	中期目標 期間最終 年度の翌 年度

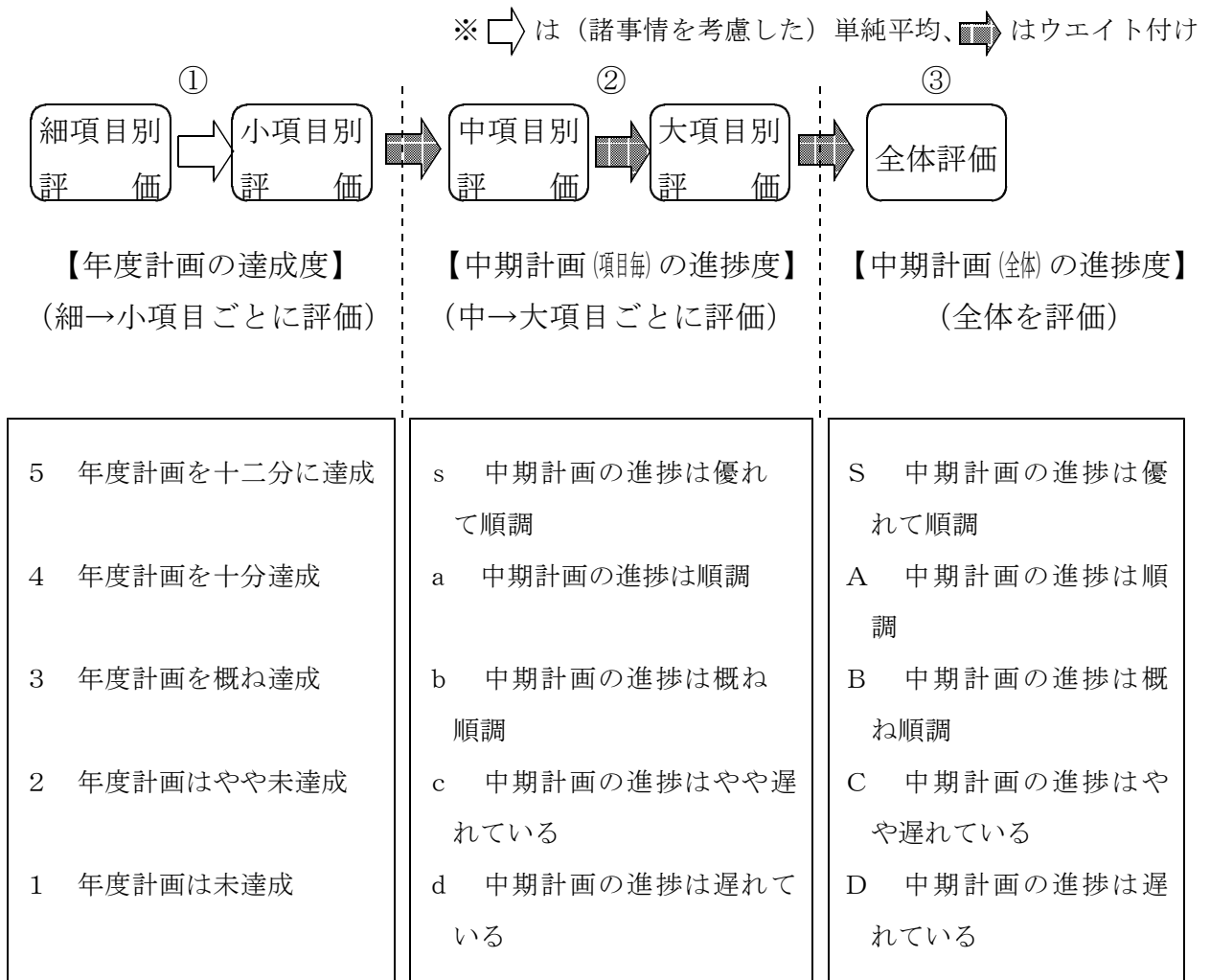
《参考：各評価の実施時期》

	年	知 事	県評価委員会	法人（自己評価）
第1期中期目標期間	21 ①		評価要領策定	
	22 ②	議会報告①	← 事業年度評価①	← 事業年度評価①
	23 ③	議会報告②	← 事業年度評価②	← 事業年度評価②
	24 ④	議会報告③	← 事業年度評価③	← 事業年度評価③
		組織及び業務全般にわたる検討	← 中期目標 先行評価①～③	← 中期目標 先行評価①～③
第2期中期目標期間	25 ⑤	次期中期目標策定	検討・各策定にかかる意見具申	次期中期計画策定
		議会報告④	← 事業年度評価④	← 事業年度評価④
第2期中期目標期間	26 ①	議会報告⑤	← 事業年度評価⑤	← 事業年度評価⑤
		議会報告	← 中期目標 期間評価	← 中期目標 期間評価

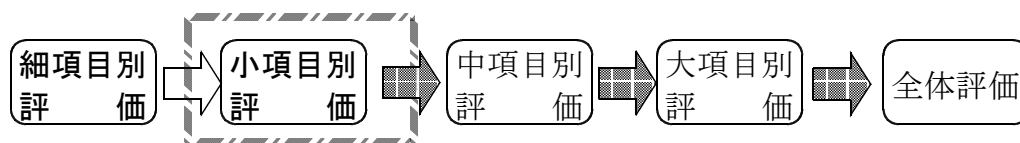
第4 評価対象・評価基準及び評価書記載事項

1 事業年度評価

年度計画は、中期計画を年度毎に具体化した計画であることから、中期計画の進捗状況は、年度計画の達成状況をもとに判断することを基本とする。



(1) 細項目→小項目別評価【年度計画の達成度】



ア 細項目別評価

評価基準	数値目標	取組目標 (例示)
5 年度計画を十二分に達成	120%以上	取組が模範的機能を発揮
4 年度計画を十分に達成	100~120%	取組が実際に機能を発揮
3 年度計画を概ね達成 【標準】	90~100%	取組を実施済
2 年度計画はやや未達成	70~90%	取組に向けて細部検討段階
1 年度計画は未達成	70%未満	取組なし、方向性未定

《考え方》

- 3 (標準) の下限となる達成度の目安
「概ね」≡「十中八九」の「九」(計画実施の確実性) → 達成度90%
- 年度計画が当該年度に制度を整備することを目標としている場合の目安
→ 着手、具体的成果物、効果の有無を考慮して設定(標準を超える評定(県民に「十分達成」の内容を明らかにできるもの)を付す場合には、何らかの効果があったと言えるかどうかを見ることを基本)。

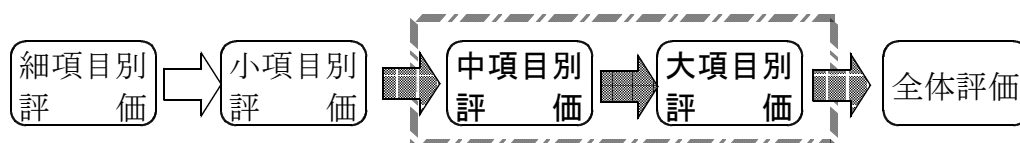
イ 小項目別評価

評価基準	評価の考え方
5 年度計画を十二分に達成	小項目内の細項目別評価の評点平均値をベースに、それ以外の諸事情を考慮して、再度1~5の5段階で点数化
4 年度計画を十分達成	
3 年度計画を概ね達成【標準】	
2 年度計画はやや未達成	
1 年度計画は未達成	

《考え方》

- 細項目別評価の評点平均値以外の諸事情の考慮
評定に当たっては、小項目内の細項目別の評価平均点をもとに、必要に応じ、重要な意義を要する事項や優れた取組がなされている事項及び法人を取り巻く諸事情等を考慮

(2) 中項目→大項目別評価【中期計画(項毎)の進捗度】



ア 中項目別評価

評価基準	中項目内の小項目別評価の評点平均値を各小項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値
s 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
a 中期計画の進捗は順調	3.5～4.2
b 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	2.7～3.4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9～2.6
d 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

《考え方》

○b(標準)の下限及び上限

「概ね」3点の90%(=2.7)、上限は四捨五入(=3.4)

→ bの範囲(0.7)を各段階評価共通の刻み幅とする

○中項目別評価は、小項目別の評価にウエイトを乗じて得た平均値を基本とするが、全体を俯瞰して、必要な調整ができるものとする。(例：項目間で大きなバラツキがある場合等) → 備考欄に理由を付記

各小項目の基本的ウエイト

《ウエイト配分の考え方》

○小項目については、年度毎に取り組む事項や優先すべき事項が異なることから、毎年度一律のウエイト配分を行うことは適当でない。そのため、毎年度の評価書の中に各小項目のウエイトとその考え方を示すこととする。

○基本的な考え方としては、中項目に掲げる取組を実践するにあたり、「①優先的に取り組むべきこと、②取組の難易度」等を総合的に勘案した上でウエイト配分を行う。

※例)

中項目【(1)技術支援の強化】評価の判断の目安となる数値
 $= Y1 + Y2 + Y3 + Y4 + Y5$

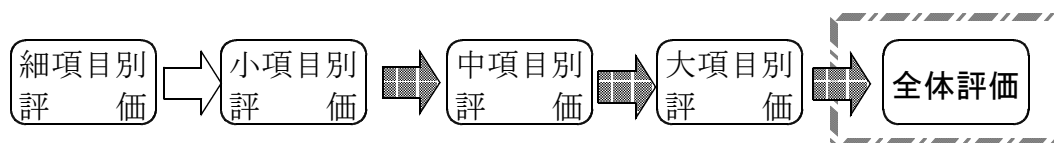
小項目	小項目別評価の 評点平均値	ウェイト	加算値
①技術相談の充実	X 1	0.30	$Y1 = X1 \times 0.30$
②迅速な課題解決支援	X 2	0.30	$Y2 = X2 \times 0.30$
③技術者養成の効果的实施	X 3	0.10	$Y3 = X3 \times 0.10$
④企業間連携への積極的な技術協力	X 4	0.10	$Y4 = X4 \times 0.10$
⑤支援業務の評価とその適切な反映	X 5	0.20	$Y5 = X5 \times 0.20$
計		1.00	

イ 大項目別評価

評価基準	大項目内の中項目別評価の評点平均値を各中項目のウェイトで乗じて得た数値の合計値
s 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
a 中期計画の進捗は順調	3.5～4.2
b 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	2.7～3.4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9～2.6
d 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

※ 大項目別評価にかかる各中項目のウェイトについては、中項目別評価にかかる小項目のウェイトと同様に、毎年度の評価書の中に各中項目のウェイトとその考え方を示すこととする。

(3) 全体評価



評価基準	大項目別評価の評点平均値を各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値
S 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
A 中期計画の進捗は順調	3.5～4.2
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	2.7～3.4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9～2.6
D 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

※ 重大事故の発生等中期計画の想定外の事象が存在する場合には、業務の確実な実施という法人の前提そのものに重要な疑義を抱かせるものであるため、C又はDを付すことも可

各大項目の基本的ウエイト

《ウエイト配分の考え方》

○法人に求められる役割や取組の重要性から、大項目のウエイトが異なると考えられることから、中期目標期間共通のウエイト配分を、あらかじめ下記のとおり決定する。

大項目区分	ウエイト	考え方
1 サービスその他業務の質の向上 (1) 技術支援の強化 (2) 研究開発の推進 (3) 産学公連携の取組	0.70	外部に提供するサービスその他業務の質の向上に関する部分を強化することが、独立行政法人化の最大の目的であることから、重点的なウエイト配分を行う。
2 業務運営の改善及び効率化	0.15	サービス提供の基礎となる法人運営に関して重要な事項について、そのウエイトを強化。
3 財務内容の改善	0.10	
4 その他業務運営	0.05	

(4) 評価書記載事項

ア 法人の概要

イ 評価結果

① 総合的な評価

※全体評価における評価及びその理由を記載

② 評価概要

※中期計画全体の進捗状況、大項目ごとの進捗状況について長所及び問題点を中心に要約

③ 対処すべき課題

※長所の伸長と問題点の改善に向けた方策を記述

④ 従前の評価結果の活用状況

※直近の自己評価、評価委員会による評価において問題点とした（された）事項への対応状況の確認結果を記載

ウ 中期計画の各項目ごとの実施状況

※細項目単位ごとの「中期計画」、「年度計画の達成状況」、「評価」等の対比表

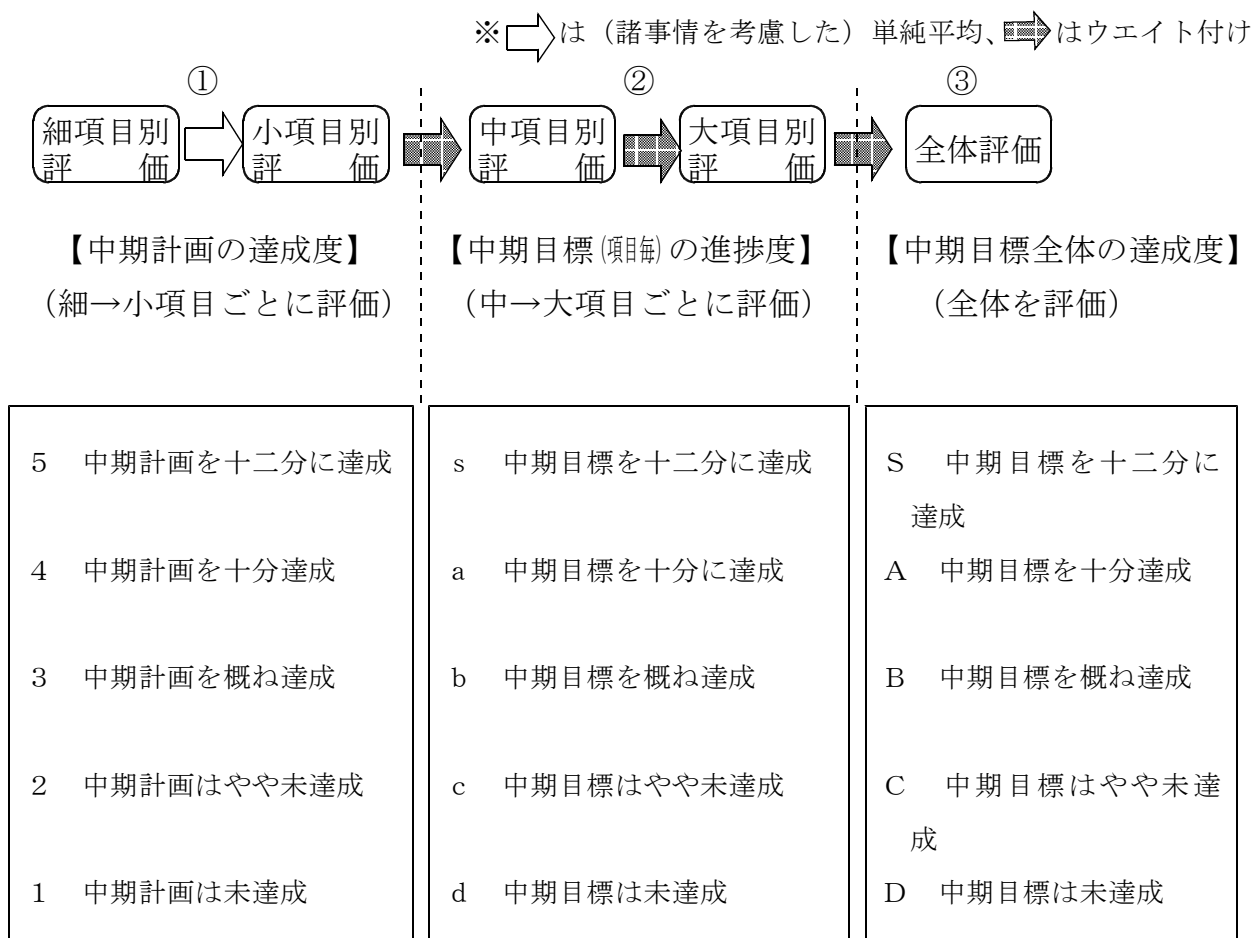
エ その他法人の現況に関する事項

※業務に関する主要指標の推移等

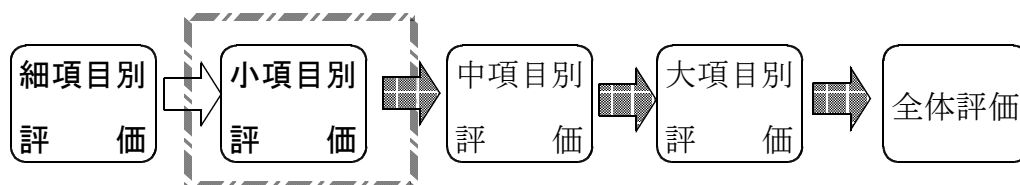
-

2 中期目標期間先行評価・中期目標期間評価

中期計画は、中期目標を達成するための計画として知事の認可を受けたものであることから、中期目標の達成状況は、中期計画の達成状況をもとに判断することを基本とする。（各評価にあたっての判断の目安、全体評価に用いる各大項目のウエイトは「事業年度評価」に準拠）



(1) 細項目→小項目別評価



ア 細項目別評価

評価基準	数値目標	取組目標（例示）
5 中期計画を十二分に達成	120%以上	取組が模範的機能を発揮
4 中期計画を十分に達成	100～120%	取組が実際に機能を発揮
3 中期計画を概ね達成 【標準】	90～100%	取組を実施済
2 中期計画はやや未達成	70～90%	取組に向けて細部検討段階
1 中期計画は未達成	70%未満	取組なし、方向性未定

イ 小項目別評価

評価基準	評価の考え方
5 中期計画を十二分に達成	小項目内の細項目別評価の評点平均値とそれ以外の諸事情を考慮して、再度1～5の5段階で点数化 ※ 諸事情は、事業年度評価に同じ
4 中期計画を十分達成	
3 中期計画を概ね達成【標準】	
2 中期計画はやや未達成	
1 中期計画は未達成	

(2) 中項目→大項目別評価



ア 中項目別評価

評価基準	中項目内の小項目別評価の評点平均値を各小項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値
s 中期目標を十二分に達成	4.3以上
a 中期目標を十分達成	3.5～4.2
b 中期目標を概ね達成【標準】	2.7～3.4
c 中期目標はやや未達成	1.9～2.6
d 中期目標は未達成	1.8以下

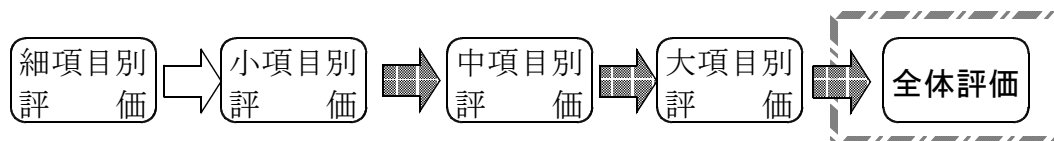
※ 各小項目のウエイトは、各事業年度評価を踏まえ、配分とその考え方を評価書に記載

イ 大項目別評価

評価基準	大項目内の中項目別評価の評点平均値を各中項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値
s 中期目標を十二分に達成	4.3以上
a 中期目標を十分達成	3.5～4.2
b 中期目標を概ね達成【標準】	2.7～3.4
c 中期目標はやや未達成	1.9～2.6
d 中期目標は未達成	1.8以下

※ 各中項目のウエイトは、各事業年度評価を踏まえ、配分とその考え方を評価書に記載

(3) 全体評価



評価基準	大項目別評価の評点平均値を各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値
S 中期目標を十二分に達成	4.3以上
A 中期目標を十分達成	3.5～4.2
B 中期目標を概ね達成【標準】	2.7～3.4
C 中期目標はやや未達成	1.9～2.6
D 中期目標は未達成	1.8以下

※ 各大項目のウエイトは事業年度評価に同じ

※ 重大事故の発生等中期計画の想定外の事象が存在する場合には、業務の確実な実施という法人の前提そのものに重要な疑義を抱かせるものであるため、C又はDを付すことも可

(4) 評価書記載事項

ア 法人の概要

イ 評価結果

① 総合的な評定

※全体評価における評定及びその理由を記載

② 評価概要

※中期目標全体の進捗状況、大項目ごとの進捗状況について長所及び問題点を中心に要約

③ 対処すべき課題

※長所の伸長と問題点の改善に向けた方策を記述

④ 従前の評価結果の活用状況

※直近の自己評価、評価委員会による評価において問題点とした(された)事項への対応状況の確認結果を記載

ウ 中期計画の各項目ごとの実施状況

※細項目単位ごとの「中期目標」、「中期計画の達成状況」、「評定」等の対比表

エ その他法人の現況に関する事項

※業務に関する主要指標の推移等

第5 評価結果に基づく業務運営の改善

改善を要する事項（評価委員会に指摘された事項を含む。）については、理事長から関係部に対してその改善を求め、次回評価において状況を確認し、その結果を評価結果報告書に記載する。

第6 評価方法の継続的見直し

評価方法については、評価の実施状況を踏まえ、必要に応じ、適宜見直す。